

2011

ミニディスクロージャー誌

第109期 営業の中間ご報告

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



ごあいさつ



日頃より、長崎銀行を格別にお引き立ていただき、心からお礼申し上げます。

さて、長崎銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくために「ミニディスクロージャー誌第109期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。本冊子では当行の平成23年度中間期の経営内容や考え方などをわかりやすく説明しております。皆さまのご理解を深めることができましたら幸いに存じます。

今後とも、皆さま方のなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

取締役頭取 **大場 剛**

○ Contents

経営方針	2
決算ハイライト	3
資産の健全性	5
金融円滑化推進への取組み	7
地域の皆さまとともに	8
中間財務諸表	11
株式会社のご案内	12
ホームページのご案内／各種お問い合わせ先	13
ネットワーク一覧	14

○ プロフィール

(平成23年9月30日現在)

創 業	● 大正元年(1912年)11月11日
資 本 金	● 41億円
総 資 産	● 2,773億円
自己資本比率	● 8.12%
預 金 残 高	● 2,617億円
貸 出 金 残 高	● 2,130億円
店 舗 数	● 32か店
行 員 数	● 346名

※計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

経営方針

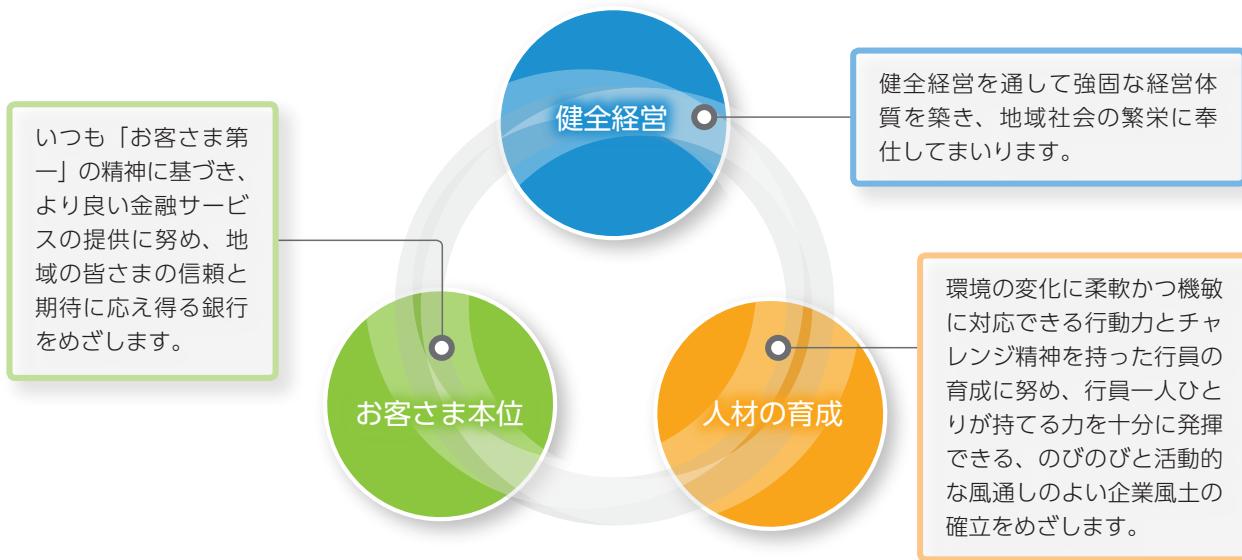
経営理念

長崎銀行は、地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行をめざして、さらに努力してまいります。

「お客さま本位」のもと
「健全経営」に徹し
「地域社会に奉仕」する

経営方針

長崎銀行は経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。



経営姿勢

長崎銀行は健全経営を堅持し、地域の皆さまとともに歩む銀行であることを願い、つねに「お客さま第一」の精神に基づき、お客さまとの信頼のきずなを深めてまいりました。

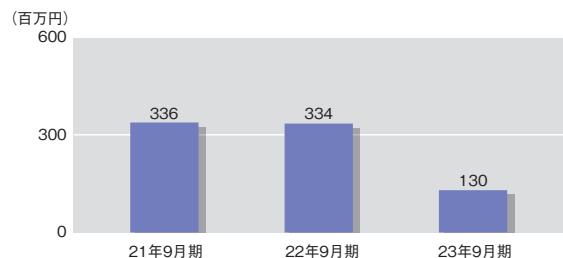
これからも、親会社である西日本シティ銀行とも十分連

携し社会の変化を先取りできる清新はつらつとした行員の育成に努め、地域金融機関としての使命をもって、地域に密着し、地域社会の発展に奉仕するとともに地域に支持される銀行をめざして努力を重ねてまいります。

損益

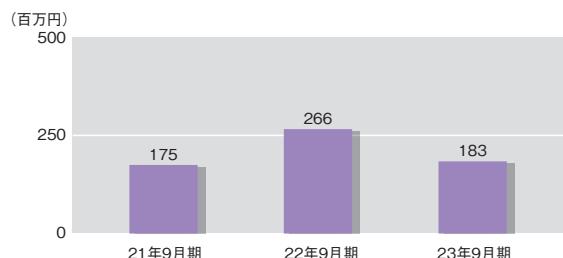
コア業務純益

コア業務純益は、貸出金利回りの低下による貸出金利の減少を主因とする業務収益の減少により、前中間期比2億4百万円減少し、1億30百万円となりました。



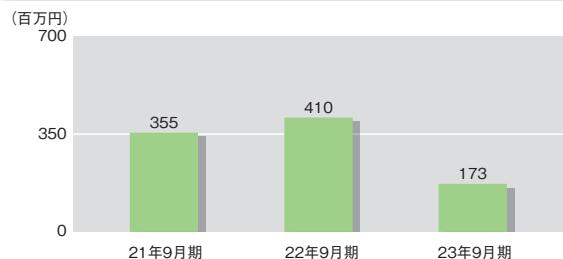
経常利益

経常利益は、コア業務純益の減少により前中間期比83百万円減少し、1億83百万円となりました。



中間純利益

中間純利益は、経常利益及び貸倒引当金戻入益の減少等により、前中間期比2億37百万円減少し、1億73百万円となりました。

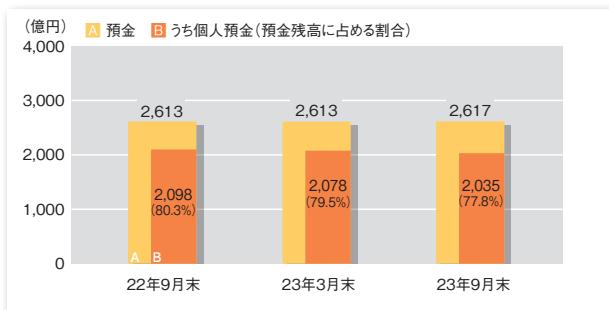


用語解説

- 1. コア業務純益とは** 預貸金業務などによる資金利益や投資信託等の販売手数料などの役員取引等収益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行本来の業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。
- 2. 経常利益とは** 銀行の通常業務での利益を表したもので、通常業務で発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。
- 3. 中間純利益とは** 経常利益に特別に発生した利益と損失（特別利益、特別損失）と税金等を加減算したもので最終的な利益です。

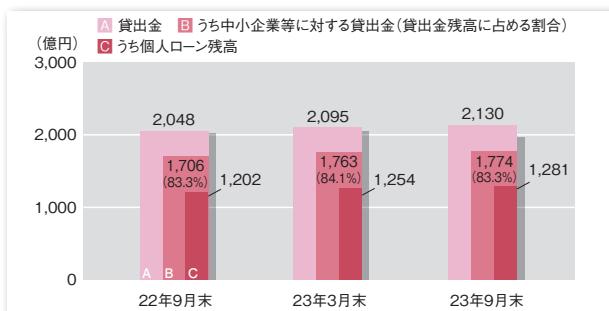
預金

預金は、積極的な営業活動を行いました結果、前事業年度末比3億円増加し、2,617億円となりました。しかしながら、個人預金は、前事業年度末比43億円減少し、2,035億円となりました。



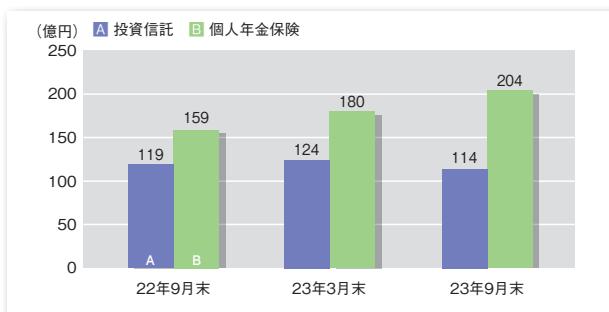
貸出金

貸出金は、個人・中小企業などのリテール部門を中心とした資金需要に積極的に対応を行いました結果、前事業年度末比35億円増加し、2,130億円となりました。また、個人ローン残高は、前事業年度末比27億円増加し、1,281億円となりました。中小企業等向け貸出金残高につきましても、前事業年度末比11億円増加し、1,774億円となりました。



預り資産

預り資産は、投資信託が前事業年度末比10億円減少し114億円、個人年金保険が前事業年度末比24億円増加し204億円となりました。

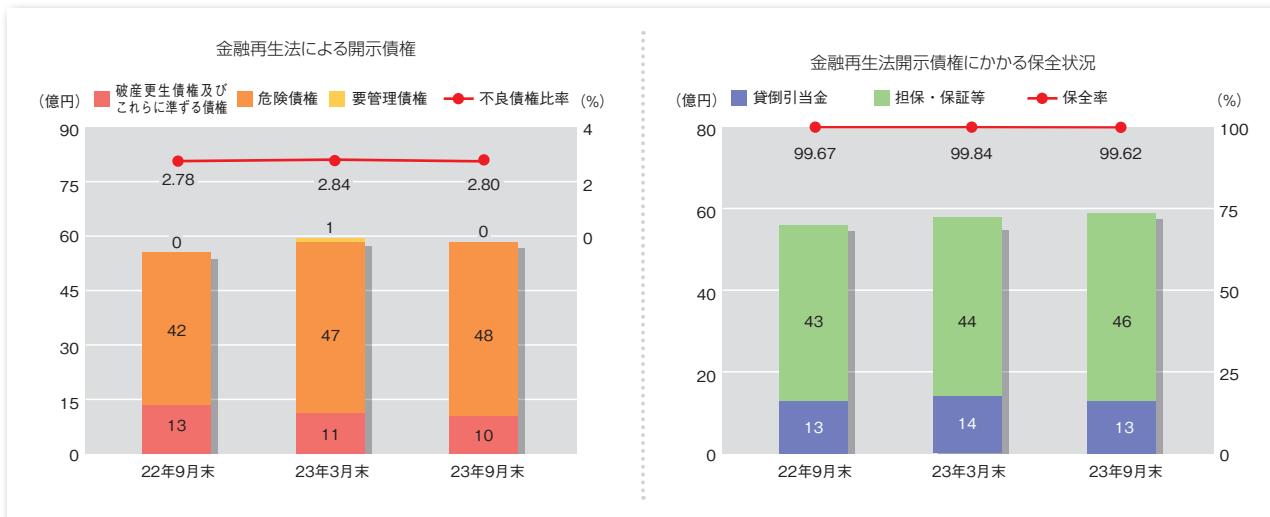


(注) 投資信託：残高、個人年金保険：販売累計額

不良債権の状況

平成23年9月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前事業年度末とほぼ横這いの59億円となり、不良債権比率は前事業年度末比0.04%低下し、2.80%となりました。

また、保全率については、99.62%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。今後も引き続き、不良債権残高の縮減を図るとともに、新規発生防止に努めてまいります。



○ 金融再生法に基づく開示債権の状況 (平成23年9月末)

(億円)

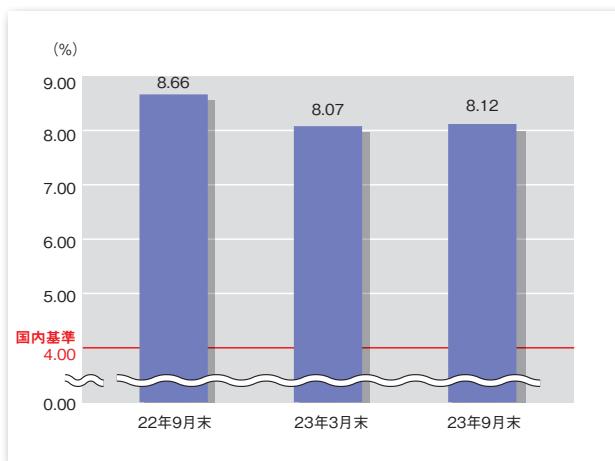
	債権額 (A)	貸倒引当金 (B)	担保・保証等 (C)	保全率 (B + C) ÷ (A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10	1	8	100.00%
危険債権	48	11	36	100.00%
要管理債権	0	0	0	65.48%
小計	59	13	46	99.62%
正常債権	2,073			
合計	2,133			

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
2. 危険債権 債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権。
3. 要管理債権 3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
4. 正常債権 債務者の財政状況などに特段の問題が無く、上記以外に区分される債権。

自己資本比率

自己資本比率とは、総資産（資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額）に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成23年9月末の自己資本比率は、8.12%と国内基準を上回っております。



金融円滑化推進への取組み

平成21年12月の「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行等を踏まえ、当行では新規のお借入れ及びお借入れ条件の変更等に係るお客さまからのご相談等に、より迅速かつ適切に対応するよう体制を強化するとともに、中小企業者の方々の経営改善支援への相談・指導といったコンサルティング機能の充実に努め、金融円滑化推進への取組みをさらに強化しております。

○ 貸付の条件の変更等の実施状況（平成23年9月末現在）

中小企業者のお客さまへの貸出

(件数：件/金額：百万円)

	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	977	814	41	35	87
金額	21,815	17,174	1,051	1,732	1,856

住宅資金お借入れのお客さまへの貸出

(件数：件/金額：百万円)

	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	132	78	7	9	38
金額	1,698	883	122	113	579

(注) 1. 上記計数は、債権ベースで集計しております。また、百万円単位未満は切り捨ててしております。

2. 「中小企業者のお客さま」には、一般事業を行う個人のお客さまも含まれます。

3. ここでいう「申込み」は、「お客さまからの貸付の条件の変更等の申込みを書面または口頭で受付けたもの」を指します。

○ ご相談・お申込み、及び苦情等受付窓口の体制について

中小企業者のお客さま	住宅ローンご利用のお客さま
● すべての営業店ご融資窓口	● すべての営業店ご融資窓口 ● ながさきローンプラザ ☎ 0120-64-7171

上記窓口の営業店長を「金融円滑化相談責任者」とし、金融円滑化に関するお客さまからのご相談・お申込み、及び苦情等に対応するとともに、その内容の把握や進捗管理に努めます。

金融円滑化に関する苦情相談電話窓口

☎ 0120-855-875

【受付時間】 平日9：00～17：00（銀行の休業日を除く）

お客さま相談室内に「金融円滑化対応苦情相談窓口」を設置し、お客さまからの苦情等に直接対応いたします。

○ 商談会の開催

平成23年6月、お取引先の販路拡大支援を目的に、JR九州リテール(株)、(株)東急ハンズ、(株)阪急阪神百貨店を商談先とする「九州新幹線全線開業記念商談会」を当行、西日本シティ銀行及び豊和銀行等の主催により開催いたしました。



○ ながさき農機具ローン取扱開始

農業従事者の皆さまの農機具購入をサポートするため、「ながさき農機具ローン」の取扱いを開始いたしました。車両ナンバー付農機具や再販可能な農機具の購入資金等が、銀行の窓口での簡単な手続きで調達することができます。詳しくはお近くのお取引店までお尋ねください。



○ ながさきマネジメントニュースの発行

法人のお客さまへの情報提供ツールとして、「ながさきマネジメントニュース」を発行いたしました。



○ セブン銀行とのATM利用提携開始

平成23年9月より当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまはセブン-イレブン、イトーヨーカドー等に設置のセブン銀行ATMで、入出金等のサービスをご利用いただくことができますようになりました。



○ ながさきポイントサービス取扱開始

「ながさきポイントサービス」は、お客さまのお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じてセブン銀行ATMの利用手数料無料など各種の特典をご提供するサービスです。

サービスの詳細はお近くの窓口またはフリーダイヤル0120-296-919までお問い合わせください。

○ 住宅ローンのご相談は「ながさきローンプラザ」まで！

「土日にゆっくり住宅ローンの相談をしたいな。」様々な生活スタイルのお客さまが気軽に住宅ローンについてご相談いただけるように、土・日曜日の相談窓口として「ながさきローンプラザ」を開設しております。

ご自宅の新築・ご購入、既存の住宅ローンのお借り換えなどの住宅に関するローンについてお気軽にご相談ください。

(注) 営業時間、営業日については、右表をご覧ください。

○住宅(新築・購入) ○アパート ○借り換え

資金計画、お借入れについてご相談を承っております！

個人のお客さまをはじめ、ハウスメーカーの方もお気軽にお立ち寄りください。

○平 日/AM10:00～PM7:00

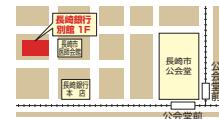
○土・日曜日/AM 9:00～PM5:00

※但し、毎週水曜日、祝日(祝日が日曜日の場合翌水曜日)、12/31～1/3は定休日

○ながさきローンプラザ

フリーダイヤル
0120-64-7171
携帯・PHS OK

長崎市栄町1-15 長崎銀行別館 1F
TEL 095-829-4371 FAX 095-829-4372



○ 市民大清掃への参加

美しいまちづくりに対する市民意識の高揚を図り、快適な環境を築いていくことを目的として、毎年長崎市で行われる「市民大清掃」に今年も多くの役職員が参加しました。本店近くにある眼鏡橋周辺をはじめとして本支店周辺などを清掃し、きれいなまちづくりに取り組んでおります。



○ 長崎くんちへの参加

「長崎くんち」は毎年10月7日から3日間行われる長崎市の氏神・諏訪神社の秋の大祭で、国指定重要無形民俗文化財にも指定されております。奉納踊りを担当する踊町、祭りの世話役にあたる年番町は旧長崎市内の各町が交代でつとめており、支店のある町や行員の住む町が当番にあたる時は積極的に参加し、地域の皆さまのお手伝いをさせていただいております。

○ 図書の寄贈

長崎銀行と(財)長崎銀行奨学育成基金は、地域文化の向上にお役立ただくため、昭和57年11月から29年間にわたって約4,800冊(平成23年3月末現在)の図書を長崎市へ贈呈させていただいております。



中間財務諸表

中間貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	58,881
商品有価証券	3
貸出金	213,013
その他資産	1,545
有形固定資産	5,090
無形固定資産	90
繰延税金資産	451
支払承諾見返	184
貸倒引当金	△1,897
資産の部合計	277,363

(単位：百万円)

科目	金額
負債の部	
預金	261,707
借入金	4,000
その他負債	1,295
未払法人税等	16
リース債務	110
資産除去債務	23
その他の負債	1,144
退職給付引当金	674
役員退職慰労引当金	38
睡眠預金払戻損失引当金	36
偶発損失引当金	73
再評価に係る繰延税金負債	946
支払承諾	184
負債の部合計	268,957
純資産の部	
資本金	4,121
資本剰余金	2,500
その他資本剰余金	2,500
利益剰余金	496
利益準備金	90
その他利益剰余金	406
繰越利益剰余金	406
自己株式	△35
株主資本合計	7,082
土地再評価差額金	1,322
評価・換算差額等合計	1,322
純資産の部合計	8,405
負債及び純資産の部合計	277,363

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	2,991
資金運用収益	2,535
(うち貸出金利息)	(2,395)
(うち有価証券利息配当金)	(0)
役員取引等収益	325
その他経常収益	130
経常費用	2,807
資金調達費用	285
(うち預金利息)	(248)
役員取引等費用	388
その他業務費用	0
営業経費	2,073
その他経常費用	60
経常利益	183
特別利益	0
固定資産処分益	0
特別損失	5
固定資産処分損	5
税引前中間純利益	178
法人税、住民税及び事業税	5
法人税等調整額	△0
法人税等合計	4
中間純利益	173

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		利益剰余金合計		評価・換算差額等	
資本金		当期首残高	572	土地再評価差額金	
当期首残高	4,121	当中間期変動額		当期首残高	1,298
当中間期変動額		利益準備金の積立	—	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	剰余金の配当	△225	土地再評価差額金の取崩	24
当中間期末残高	4,121	中間純利益	173	当中間期変動額合計	24
資本剰余金		土地再評価差額金の取崩	△24	当中間期末残高	1,322
その他資本剰余金		当中間期変動額合計	△75	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,500	当中間期末残高	496	当期首残高	1,298
当中間期変動額		自己株式		当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	当期首残高	△35	土地再評価差額金の取崩	24
当中間期末残高	2,500	当中間期変動額		当中間期変動額合計	24
資本剰余金合計		自己株式の取得	△0	当中間期末残高	1,322
当期首残高	2,500	当中間期変動額合計	△0	純資産合計	
当中間期変動額		当中間期末残高	△35	当期首残高	8,456
当中間期変動額合計	—	株主資本合計		当中間期変動額	
当中間期末残高	2,500	当期首残高	7,158	剰余金の配当	△225
利益剰余金		当中間期変動額		中間純利益	173
利益準備金		剰余金の配当	△225	自己株式の取得	△0
当期首残高	45	中間純利益	173	土地再評価差額金の取崩	—
当中間期変動額		自己株式の取得	△0	当中間期変動額合計	△51
利益準備金の積立	45	土地再評価差額金の取崩	△24	当中間期末残高	8,405
当中間期変動額合計	45	当中間期変動額合計	△75		
当中間期末残高	90	当中間期末残高	7,082		
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金					
当期首残高	527				
当中間期変動額					
利益準備金の積立	△45				
剰余金の配当	△225				
中間純利益	173				
土地再評価差額金の取崩	△24				
当中間期変動額合計	△120				
当中間期末残高	406				

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 株式のご案内

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年4月1日から3か月以内に開催いたします。
配当金	毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会の基準日については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	「日本経済新聞」及び「西日本新聞」に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株式事務取扱場所	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号 日本証券代行株式会社福岡支店 電話 福岡 (092) 741-0284
郵便物送付先 お問合せ先	〒137-8650 東京都江東区塩浜2丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-707-842 (その他のご照会) ☎0120-707-843
同取次所	日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

ホームページのご案内／各種お問い合わせ先

○ ホームページのご案内

ホームページにて当行の商品情報、
キャンペーン情報などを掲載しております。

<http://www.nagasakibank.co.jp>



○ 各種お問い合わせ先

● 当行各種お問い合わせ先

お問い合わせ内容	受付時間	連絡先
通帳・カード・印鑑の紛失・盗難のお届け	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 8:45～18:00	各お取引店
	24時間365日	ATM監視センター 095-849-6092
苦情・ご意見・ご要望等	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 9:00～17:00	人事総務部 お客さま相談室 095-829-4100

● 全国銀行協会相談室

「全国銀行協会相談室」は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しています。ご相談・ご照会等は無料です。

詳しくは、全国銀行協会のホームページ (<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>) をご参照ください。

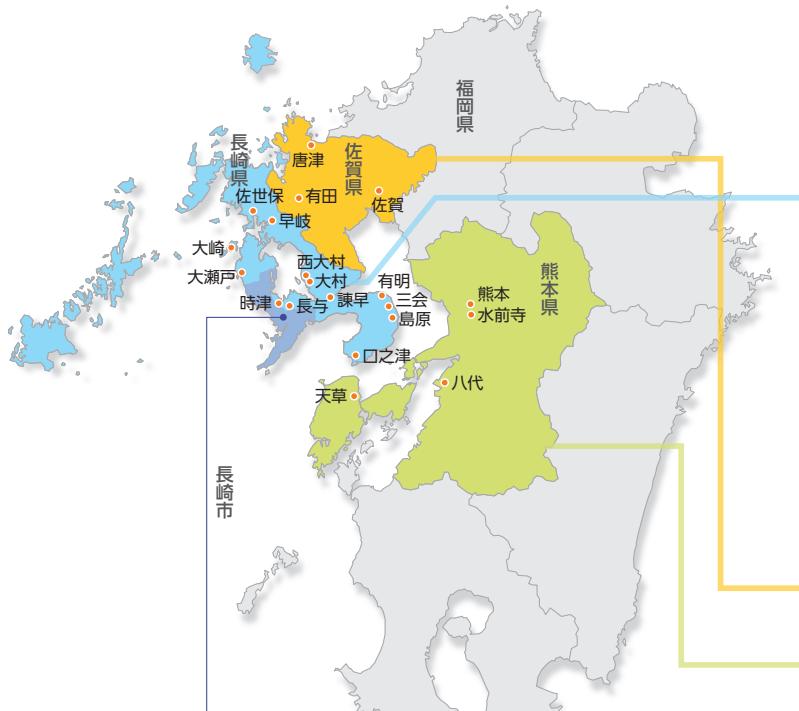
また、「全国銀行協会相談室」がお客さまからの苦情の申出を受け、原則として2ヶ月を経過してもトラブルが解決しない場合には、「あっせん委員会」をご利用いただけます。詳しくは全国銀行協会にお尋ねください。

電話番号	受付時間
0570-017109 または 03-5252-3772	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 9:00～17:00

※全国銀行協会は銀行法及び農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

ネットワーク一覧

店舗配置図 (平成23年9月30日現在)



店舗一覧

(平成23年9月30日現在)

長崎市	◎☆本店営業部	☎095-825-4161
	◎☆銅座町支店	☎095-826-9261
	◎☆千歳支店	☎095-849-1130
	◎☆浦上支店	☎095-844-0104
	◎☆新大工町支店	☎095-826-6361
	☆思案橋支店	☎095-826-7146
	☆長崎駅前支店	☎095-826-9338
	◎☆滑石支店	☎095-856-2161
	☆江川支店	☎095-878-5115
	城山支店	☎095-847-1020
	☆新戸町支店	☎095-878-1709
	◎☆戸石支店	☎095-830-1121
	◎☆長与支店	☎095-883-6221
	◎☆時津支店	☎095-840-2230
	◎☆諫早支店	☎0957-22-3347
	◎☆大村支店	☎0957-52-3181
	◎☆島原支店	☎0957-62-4121
	◎☆口之津支店	☎0957-86-4151
	◎☆有明支店	☎0957-68-1131
	◎☆三會支店	☎0957-62-6868
◎☆西大村支店	☎0957-53-6210	
◎☆佐世保支店	☎0956-22-6171	
◎☆大崎支店	☎0959-34-2051	
◎☆早岐支店	☎0956-38-3151	
◎☆大瀬戸支店	☎0959-22-0073	
◎☆佐賀支店	☎0952-24-2281	
◎☆唐津支店	☎0955-72-5148	
◎☆有田支店	☎0955-42-4104	
◎☆熊本支店	☎096-352-7155	
◎☆八代支店	☎0965-32-3161	
◎☆天草支店	☎0969-22-5221	
◎☆水前寺支店	☎096-381-9281	

店舗外キャッシュコーナー

(平成23年9月30日現在)

ATM	◎☆三原台病院
	◎☆夢彩都
	◎☆住吉町
	◎☆昭和町
	◎☆道の尾
	◎☆みらい長崎ココウォーク
	◎☆浜町
	◎☆アミュプラザ長崎
	◎☆滑石ショッピングセンター
	◎☆ジョイフルサンショッピングプラザ江川店
	◎☆イオン時津ショッピングセンター
	◎☆イオン東長崎ショッピングセンター
	◎☆福田
	◎☆イオン大村ショッピングセンター
◎☆まるたか富の原店	

(注) ◎…土曜日、日曜日、祝日にATMコーナーがご利用いただけます。
 ☆…視覚障がい者対応ATM(音声案内機能付ATM)を設置しております。
 ・ATM稼働時間内はご入金ができます。



発行2011年12月 編集／長崎銀行 総合企画部
〒850-8666 長崎市栄町3番14号 電話095-825-4151
<http://www.nagasaki.co.jp>

